

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	嬉野市	地域再生計画名	「歓声が聞こえる」自然と共生する安全で快適なまちづくり
計画期間	平成23年度～平成27年度	評価責任者	嬉野市産業建設部長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値（見込み）			見込み評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	直近値				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	污水処理人口普及率	46.3%	H21	/	/	/	59.5%	H27	59.5%	○	公共下水道及び農業集落排水、浄化槽の整備により目標を達成できた。
	指標 2	公共用水域の水質改善（BOD）	4.3mg/L	H21	/	/	/	2.0	H27	1.0	○	計画以上の水質向上ができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（H25）	最終実績見込み							
特別措置を適用して行う事業	農業集落排水施設（整備延長）		1.9km	/	1.9km	污水処理人口普及率の向上及び農業用水の水質向上に寄与したとともに、五町田・谷所地区の整備が完了した。さらに農業用水の水質確保及び汚泥の農地還元に向け、事業の管理・運営に取り組む。						
	浄化槽（個人設置型）		205基	/	205基	污水処理人口普及率の向上及び公共用水域の水質向上に寄与した。個人設置型は、設置費の一部補助であるものの、市民の水質向上と生活環境の改善の意識は高く、事業期間内に県のリフォーム助成金事業もあったことから、水洗化に向けての取り組みが実現できた。今後も浄化槽事業については、継続的に取り組んでいきたい。						
	浄化槽（市町村設置型）		60基	/	60基	污水処理人口普及率の向上及び公共用水域の水質向上に寄与した。住民説明会においても事業の関心度は高く、また、市が設置・管理を行うことにより住民の負担軽減にもつながるため、問い合わせが多かった。今後も市町村設置型については広報等でPRしながら継続的に取り組んでいきたい。						
	公共下水道（整備延長）		1.5km	/	1.5km	污水処理人口普及率の向上及び農業用水の水質向上に寄与したとともに、7.9haの供用開始ができた。今後も更なる污水処理施設整備による普及率向上に努めていきたい。						
その他の事業	環境コンシャスの実施		地域コミュニティによる美化運動等の実施			パンフレットの作成はできなかったものの、地域コミュニティ主体による児童の稚魚の放流並びにホテル再生等の環境学習、及び水路清掃等の美化活動を実施した。						
計画外で独自に実施した事業	環境下水道展の開催					秋祭りで環境下水道展を実施し、来客された方に污水処理の仕組み等を広報し、環境意識を高揚することができた。						
	水の学習の実施					小学校4年生を対象とし、水の浄化のプロセスをDVD等で説明し、また、浄化センターの見学等を行い污水処理の大切さを学習させることができた。						
④評価方法	嬉野市の担当課において事業成果を集約し、評価した。											
⑤事後評価の公表方法	嬉野市HPにて公表											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、污水処理交付金を活用した効率的な整備を図り、浄化槽については、年度間調整及び計画の軽微な変更等を行い整備量を完了できた。公共下水道、農業集落排水事業についても計画通りの事業の完了ができ、目標の污水処理人口普及率及び水質改善に関しては目標を達成することができた。その他の事業に関しても、市民の環境意識の高揚につながったと考えている。本恵企画を通じて、水質保全に努めることができ、安全で快適なまちづくりが推進できた。											
⑦今後の方針等	農業集落排水事業は、本計画をもって終了したため未接続世帯の接続推進を行っていく、公共下水道と浄化槽に関しては、平成28年度以降も地方創生污水処理施設整備推進交付金を活用して行い、さらなる污水処理人口普及率の向上及び定住人口の確保を目標とし、その成果が安全で快適なまちづくりの推進につながるよう取り組みを継続したい。											